

2000年（平成12年）

- ・ 楽員名鑑を発行
- ・ 第2回札幌くらぶコンサート開催
- ・ 有珠山噴火チャリティーコンサートに協力
- ・ 総会での審議と役員改選が行われる
- ・ 初の定期演奏会後の交流会を実施

楽員名鑑を発行

会報「札幌くらぶ」が10号になったのを記念し、札幌で初の楽員名鑑を札幌くらぶが作成することになり、「札幌くらぶ」第11号の別冊として1月に発行されました。

現在では、札幌楽員の写真は全員写真家佐藤雅英さんによって撮影されていますが、当時はそんな好都合のものではなく、札幌事務局で保管していた一部の人の写真以外は本人から借りることにしました。そのため、愛犬と一緒に写った写真だとか、登山姿の写真だとか、かえって楽員の個性が出た楽しい名鑑ができました。

しかし、完成までには苦労もありました。楽員のなかには、そもそも名鑑を作ることに反対の人もおり、何とか了承してもらっても、質問項目にほとんど答えてもらえなかったりもしました。その後は、札幌の楽員名鑑は札幌の「40年誌」に一度掲載されただけで作られていません。現在のように個人情報の扱いが難しい時代になると、名鑑の作成は容易ではなく、この第11号別冊は貴重な資料となりました。

第2回札幌くらぶコンサート開催

2回目の札幌くらぶコンサートは、会員からの希望が圧倒的に多かった尾高忠明さんを指揮者に迎え、4月15日キタラの大ホールで開催されました。

ベルリオーズの「ローマの謝肉祭」で幕を

明けたコンサートは、尾高さんのユーモアを交えた軽妙なお話で進行し、1部では他に外山雄三、マスカーニ、チャイコフスキーと、多彩な曲が演奏されました。

2部では「フィンランディア」が演奏された後、お楽しみの「指揮者にチャレンジ」のコーナーが行われました。



指揮者にチャレンジ

今回は「ハンガリー舞曲第1番」で行われましたが、小学生の女の子からお年寄りまでが挑戦、聴衆を感心させたり、楽員の笑いを誘ったりで、前回同様皆が楽しんだコーナーになりました。

最後は、前回の聴衆へのアンケートで聴きたい曲のナンバー1に選ばれたラヴェル作曲の「ボレロ」が演奏され、大喝采のなか、ほぼ満席となったコンサートを終了しました。

コンサート終了後、前年に続きキタラ3階の大リハーサル室で打ち上げの交流会が行われました。前年を上回る100人を超える参加があり、賑やかな交流会になりました。

上田実行委員長の挨拶の後、尾高さんがマイクの前に立ち「客席の反応が素晴らしかった。ずっと続けていけるといいですね」と述べられました。その後は会員と楽員の楽しい懇談が続き、皆さん満足されたようでした。

有珠山噴火チャリティーに協力

この年の3月31日に噴火し、その後も長く火山活動が続いて多大な被害を出した有珠山噴火による被災者を支援するチャリティーコンサートが、札幌とキタラの主催で行われることが発表されました。

札幌くらぶとしては、既に第2回札幌くらぶコンサートで募金を募っていましたが、このコンサートにも全面的に協力しました。掲載予定の原稿を変更して会報で会員に呼びかけをするなどをした結果、多くの会員が賛同してコンサートに駆けつけてくれました。コンサートは6月18日に正指揮者の円光寺雅彦さんの指揮でキタラで行われました。

総会で役員改選

この年の総会は6月10日にキタラ2階の大会議室で行われました。

審議のなかでは特に、翌年秋に予定されている札幌の英国巡演を聴くツアーの企画が事業計画に盛り込まれました。この演奏旅行は札幌の40周年記念事業の一環で、初の英国での演奏であり、久々の海外公演です。かつて札幌の海外公演が行われた頃は、一般の人が気軽に海外旅行にいけるような状況ではありませんでした。今や海外旅行は特別なことではなく、多くの会員が参加してくれるのではないかと期待されました。

この年は役員改選の年でもあり、会則に則って役員改選が行われました。その結果、総会で選ばれることになっている会長と監査は再選され、他の会長指名の役員についても、会長から「現役員で」との発言があり、本人から申し出のあった事務局次長1名の退任以

外全員留任となりました。

定演後の交流会

演奏会当日以外の日程での交流会開催は、会員にも楽員にも「そのためにわざわざ出かけるのは」という気持ちがあり、何とか演奏会終了後にできないかという要望は根強くありました。しかし、現在とは違い定演が1日の夜公演という事情から、その実現は困難でした。ただ、札幌くらぶコンサート後に夜行ったことがあり、一度試してみる価値はありそうでした。そんななか、会長の提案で、やってみようということになりました。

9月20日、第427回定期演奏会終了後、テラスレストラン・キタラを会場に開催することになり、スタッフははたしてどれくらいの人が参加してくれるのか不安を抱きながら開会を待ちました。しかし、案に相違して夜遅い時間にもかかわらず、会員・楽員・札幌事務局合計で94人も参加者があり、ほっと胸を撫で下ろしました。この定演後の交流会は予想以上の好評でした。



定演後の交流会(マイクは石突美奈さん)

◎この年「札幌くらぶ」に登場した人
三船優子 (ピアニスト)
尾高忠明 (札幌MA・常任)
グレブ・ニキティン (札幌首席コンマス)
山本直純 (作曲家・指揮者)
松原悠久 (F1)、石突美奈 (Vn)
香川千楯 (Tub)、川崎昌子 (Vc)
松田次史 (Tp)、河邊俊和 (Vn)